

平成 22 年度第 1 回リニモ沿線地域づくり会議における主な委員発言と対応状況等

主な発言概要	対応状況等
大学と沿線施設の連携	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知の拠点は、今後大学とどのように関わっていく予定なのか。 	<p>① 知の拠点では、産学行政が連携し先導的中核施設（平成 24 年 2 月頃供用開始予定）で共同研究開発を行う予定であり、平成 22 年度から各大学（県内 14 大学）等で分散して研究を開始。シンクロトロン光利用施設（平成 24 年度中に供用開始予定）も整備し、大学から技術者等の派遣を受ける計画がある。＜県＞</p>
沿線の市街地整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・ リニモ駅周辺の市街化調整区域での開発を対象にした、土地利用規制の緩和や補助金制度の新設をお願いしたい。 	<p>② リニモ沿線環境共生まちづくり特区を国に提案しており、環境負荷の低い開発に対する優遇措置や公共交通機関に近接する一定要件を満たす開発における土地利用規制の緩和等が主な提案内容となっている。＜県＞ 資料 1-2</p> <p>③ 豊田市八草地区の山林における産業集積用地整備についての検討を踏まえ、事業を進める方針を決定すると共に、八草駅周辺で進めている区画整理事業の実施に向けた地元の合意形成を図ってきた。 ＜豊田市＞ 資料 1-6</p> <p>④ 日進市北新地区においては、地元組織とともに市街地整備手法や土地利用計画を検討中である。 ＜日進市＞ 資料 1-7</p> <p>⑤ 長久手古戦場駅周辺では、組合を事業主体とした土地区画整理事業による市街地整備を行っており、このエリアの商業事業予定者の協力を得て、駅前での「リニモテラス構想」の実現を目指している。また、公園西駅周辺は、平成 22 年 3 月に策定した</p>

主な発言概要	対応状況等
	<p>長久手町都市計画マスタープランにおいて、市街化区域編入を前提とした新しい市街地の形成を行い、多くの人が集まる生活交流拠点の形成を目指すこととしている。</p> <p>＜長久手町＞ 資料 1－8</p>
学生と地域住民との連携	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大学が行っている様々な取組に、学生と地域住民が連携して取り組めるような仕組みを構築できれば良い。 ・ 大学と地域住民の連携をテーマにした話し合いの場（行政も参加したリニモ沿線地域づくり会議の分科会等）を創設することはできないだろうか。自治体にも加わって欲しい。 ・ 大学や地域住民の意見を取り入れる仕組みがあると、まちづくりに役に立つのでは。検討いただきたい。 ・ 長久手町でもリニモ沿線のスイーツ店と学生が交流して、スイーツ博のようなイベントの実施をしてはどうか。 	<p>⑥ 「学生によるリニモ沿線地域づくり活性化事業」として、名商大、愛工大、淑徳大の学生グループによる地域づくり活動が行われた。</p> <p>＜県・沿線市町＞ 資料 2－1～4</p> <p>⑦ ⑥の沿線まちづくりに関する提案募集事業は平成 23 年度も継続実施する予定。提案者をリニモ沿線に在住する地域住民、学生、NPO 等に拡充し、沿線エリアにおけるまちづくりの実践を促進。</p> <p>＜県・沿線市町＞</p> <p>⑧ 県では大学連携のプラットフォームである「大学連携ポータルサイト」を平成 23 年 3 月 1 日から立ち上げ、大学連携の取組や県内大学に関する情報を提供。また、リニモ沿線の 5 大学と愛知県図書館・長久手町が連携事業を実施。</p> <p>＜県・長久手町＞ 資料 1－3・別添資料</p> <p>⑨ リニモ活性化事業「TNP プロジェクト (THINK! NAGAKUTE! PROJECT!)」に沿線大学の学園祭実行委員が参加し、企画の立案・実施を行った。</p> <p>＜長久手町＞ 資料 1－8</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ リニモ沿線の学生や地域活動団体の人が集える場所を、モリコロパークや長久手古戦場の駅あたりに設けると良い。 	<p>⑩ 古戦場駅周辺では商業・公益サービスに加えて大学連携等地域の活動等に資するための空間整備を、区画整理事業の進捗に併せて進める。＜長久手町＞</p> <p>区画整理事業の概要・・・資料 1－8</p>

主な発言概要	対応状況等
沿線施設間の往来促進	
<ul style="list-style-type: none"> 沿線市町が連携してリニモ沿線に自転車で繰り出せるように自転車道を整備する必要があると思う。 	<p>⑪ 区画整理事業を含めた地域整備の中で、歩行者と自転車が使いやすい環境に配慮。なお、県道力石名古屋線の歩道には自転車・歩行者の棲み分けレーンを設置した。</p> <p><県・沿線市町></p>
<p>(発言に関連した沿線施設間の往来促進に関する対応状況等)</p>	<p>⑫ 八草駅を起点とした中心市街地への移動手段としてコミュニティバス上之山線を導入した。 <瀬戸市> 資料1-5</p> <p>⑬ 社会実験やアンケート結果をもとに保見地域バスの路線やダイヤの改正を地域運営協議会と共に検討し利用促進に努めている。</p> <p><豊田市> 資料1-6</p> <p>⑭ 日進市内から長久手古戦場駅への交通手段である「くるりんばす」の充実を図った。</p> <p><日進市></p> <p>⑮ 古戦場駅前広場バスシェルターの整備を実施した。 <長久手町> 資料1-8</p>
沿線観光施設等への回遊促進等	
<ul style="list-style-type: none"> モリコロパークを訪れた人が、リニモ沿線の様々なイベントや観光施設等に行けるように、案内マップの作成や自転車道や遊歩道整備をしてはどうか。 モリコロパークから陶磁資料館にアクセスできるように、モリコロパークの北東部分に出入口を造るとよい。 モリコロパーク来場者が、沿線市町に行かないのは、いろいろな理由があるかもしれないが、ホームページを見て、他施設でのイベント情報などが同時にわかれば、行ってみようということになるかもしれないので、ホームページ 	<p>⑯ 平成 23 年度リニモ沿線地域づくり調査研究会事業として、陶磁資料館南駅から陶磁資料館への遊歩道で来場者を楽しませる手法等を検討調査する事業を実施予定。また、リニモ沿線地域内外における回遊性を高めるために、観光を機軸とした広域連携を促進し、リニモ沿線市町の地域特性を生かした観光資源活用の検討等を行う。なお、モリコロパークのホームページメニューに「お立ち寄り情報」があり、公園周辺のおすすめスポットを紹介。 <県・沿線市町></p> <p>⑰ 東部丘陵線連絡協議会のホームページ（リニモニ通信）において、沿線市町における</p>

主な発言概要	対応状況等
<p>での情報提供を工夫していただきたい。</p>	<p>イベントを紹介している。</p> <p><県・沿線市町></p> <p>⑱ 市全域の魅力ある観光資源を活用した総合的なまちづくりを進める中で、イベント等の開催を通じてリニモ沿線を含めた地域の賑わいと交流の創出を目指す、「せと・まるっとミュージアム」を推進中であり、本年春には道の駅「瀬戸しなの」が開場される。</p> <p><瀬戸市> 資料1-5</p> <p>⑲ 観光案内ホームページを活用したWebでの情報発信、雑誌・ラジオ等のメディアを活用した広報宣伝活動を実施するとともに、リニモと沿線地域の活性化事業である「リニモde夏休み」「リニモdeイルミ」を実施した。</p> <p><長久手町・長久手町リニモ活性化会議> 資料1-8</p>
モリコロパークの魅力向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・ モリコロパークの大観覧車周辺（こどものひろば）に、家族連れが集まることのできるような形態が必要。 	<p>⑳ 平成 22 年度、県が公募した民間企業による検討会や有識者検討会での議論を踏まえて、「こどものひろば整備の基本的考え方」を策定し、年度末に公表を予定している。また、国の緊急雇用創出事業基金事業を利用した、リニモ利用促進の実証実験イベント「愛知ポップカルチャーフェスタ in モリコロパーク（ぽぷかる）」を開催した。</p> <p><県></p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ リニモの利用券（一日乗車券）で、愛・地球博記念公園のスケート場の利用料金が半額になるなどの取組をしているが、こうした取組を、年間を通して、もっといろいろな行事につなげてもらいたい。 	<p>㉑ 現在、リニモ一日乗車券で利用料金割引の可能な施設は、トヨタ博物館・陶磁資料館・名都美術館・長久手温泉「ござらっせ」・モリコロパーク大観覧車等。沿線には魅力ある集客施設が数多くあり、今後もこうした施設と一層の連携を図りながら、施設の利用料金の割引などの工夫を凝らす。 <県></p>

主な発言概要	対応状況等
リニモに関する情報提供	
<ul style="list-style-type: none"> リニモ開業当初から最近までのリニモ各駅の利用者数（月単位）を提示してもらいたい。 	<p>⑳ リニモ利用者数は、平成 22 年 2 月から愛知高速交通株のホームページでも掲載されており、今後毎月更新される予定。<県> 資料 1 - 4</p>
IC カード「mana」の活用	
<ul style="list-style-type: none"> リニモ沿線において、IC カード「mana」を活用し、レンタサイクルや買い物の割引等ができる仕組みを構築できたら良いと思う。 	<p>㉑ IC カードの導入には、多額な経費が必要なことから、今回リニモにmanaは導入されていないが、IC カードは、鉄道での利用にとどまらず、地域活性化のツールとしての活用も期待されるため、今後の検討課題としたい。<県></p>
学生のリニモ駅の利活用	
<ul style="list-style-type: none"> 学生が、駅やリニモの中でプレゼンテーションしたいといったような場合、可能なのか、検討してもらいたい。 	<p>㉒ リニモ各駅にあるパンフレットスタンドや藤が丘駅と愛・地球博記念公園駅に設置している掲示ボードは、希望があれば、即時に利用可能。また、平成 22 年 10 月に「地球市民交流センター」が愛・地球博記念公園駅前でオープンし、プレゼンテーションや各種イベントで活用可能となっている。</p> <p><県></p>
<p>(発言に関連した学生のリニモ駅の利活用についての対応状況等)</p>	<p>㉓ 長久手古戦場駅より沿線大学へのシャトルバス運行を実施。</p> <p><大学> 資料 1 - 8</p>